

●鳥取県令和新時代創造県民運動推進「とっとりドリーム型」事業

令和２年度鳥取県令和新時代創造県民運動推進「とっとりドリーム型」事業の寄付金を活用して砂丘トンネル出口・県道２６５号線のり面の雑木を１２名・２日間で伐採しました。

[日時]： ２０２０年１１月５日・６日（木曜日・金曜日）

[場所]： 県道２６５号線砂丘トンネル出口の多鯰ヶ池側

[内容]： クラウドファンディング資金・目標５０万円に対して９３．８万円寄付金が集まり、その資金で「チェーンソー防護ズボン・防護メガネ・防護手袋・伐採用備品」などを取り揃えて、天候に恵まれた２日間で見違えるほどの景観になりました。
たくさんのご寄付を頂きました皆さんに感謝申し上げます。



浜湯山・多鯰ヶ池活性化委員会メンバー１２名の集合写真です

鳥取砂丘周辺の 美しい景観再び

福部の住民団体
県道沿い雑木伐採

鳥取市の鳥取砂丘と多鯰ケ池に挟まれた県道沿いの雑木の伐採が5日、現地では始まった。同市福部町湯山の住民団体「浜湯山・多鯰ケ池活性化委員会」（銅牛



ニセアカシアを切り倒す活性化委員会のメンバーら
＝5日、鳥取市浜坂

明代表）が、砂丘周辺の美しい景観を復活させようと企画。6日までに約700平方メートルの木々を伐採し、観光地としての魅力アップを図る。

砂丘につながる県道からはかつて、多鯰ケ池や砂丘が一望できた。しかし、池側のり面は半世紀以上放置され雑木が生い茂り、整備を望む声が上がっていた。

同委員会は2018年からボランティアでのり面整備を始め、今回は鳥取県のふるさと納税型クラウドファンディング事業を活用。寄付の目標額50万円を大きく上回る93万8千円が集まった。

初日はメンバー12人がチェーンソーで高さ5～10メートルに育ったニセアカシアやハゼを切り落とし、雑草を刈り取った。銅牛代表（72）は「多くの温かい支援は砂丘の景観保全への期待の表

れ。観光地としての砂丘から恩恵を受けてきた。今こそ恩返しするとき」と話した。
(野木 紬)

伐採前



伐採後





伐採作業画像





最後に除草剤散布